

## 地域の経済動向（令和3年10～12月期）

### 《釧路・根室地域》

#### 1 経済動向に係る企業等の声（10～12月期）

##### 【建設業】

- ・新型コロナウイルスの先行きが不透明で、業界にどのような影響が出るのかの判断が難しく、設備投資が積極的に出来ないため、業務の改善が進まない。（建築工事業（木造建築工事業を除く））
- ・新型コロナウイルスのまん延による直接的な影響は少なく、公共工事による一定額の受注はあるものの、民間の投資意欲が減退し、大口受注が極端に減少したため、間接的に大きな影響を受ける結果となっている。（一般土木建築工事業）

##### 【製造業】

- ・昨年の売上は物産展などをやっていなかった影響で1割減だが、それほど大きな影響ではなかった。今年の売上は順調に伸びている。（水産加工業）
- ・売上は下がってはいないが、安心できない状況。販売先は、道外向けの卸が中心である。一方で、通販の売上は好調である。今後は、サケ漁の状況次第で業績が変わってくる。（製造業）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で各種物産展が中止となり、厳しい状況。（製造業）
- ・ネットによる商品の販売が好調であり、コロナ禍で低迷していた飲食店等の卸販売も戻りつつある。（製造業）
- ・人手不足感が強く、募集をかけても応募が来ない状況。（水産食料品製造業）
- ・人手不足が一番の問題点となっており、減益に繋がっている。（食料品製造業）
- ・原料の高騰はあるが、事業は継続できている。コンビニやスーパーへ主に納品しているため、新型コロナウイルスの影響はそれほど小さくなく、家でお酒を飲む方が増えたこともあり売上は横ばい。（製造業）








##### 【運輸業】

- ・第6波といわれる感染拡大が発生し、次年度にも影響が続くようであれば、会社規模の見直しと人員の削減等を進め、発展的縮小を考えている。（一般貨物自動車運送業）
- ・燃料費の高騰により経営が圧迫されている状況なので、一時的に軽油取引税等、油に関しての税の一時執行停止を願う。業界に支給されている交付税を廃止することで、予算の捻出は可能なのではないか。（一般貨物自動車運送業）


##### 【関係機関・団体】

- ・商工会で「夜の店スタンプラリー」を開始した。異なる3店舗のお店を回るもので、必ず1件はスナックとしている。週末は人が出ているが、平日はダメ。2年間コロナが続く状況の中で、外に出ることが億劫になってしまったのではと感じている。（商工会）

















## 2 道内金融機関から見た地域景況感 (10~12月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調 	好調 	やや好調 	普通 	やや低調 	低調 	非常に低調 

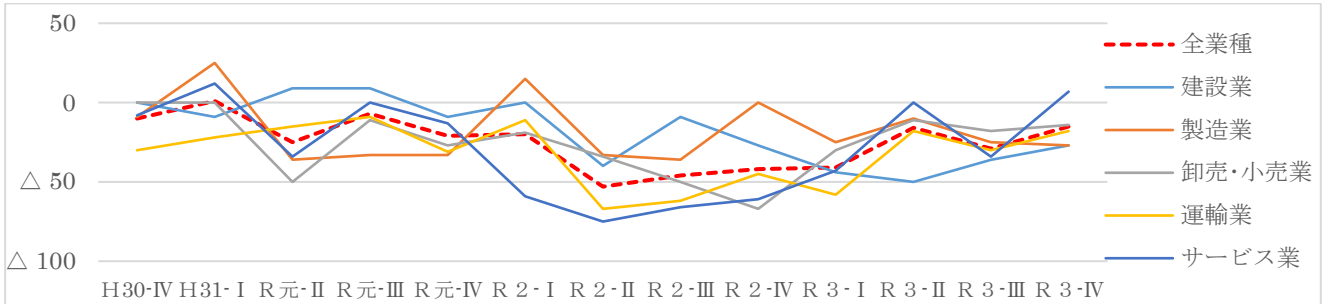
## 【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
釧路信用金庫				新型コロナウイルス感染症の影響が甚大であった宿泊業や飲食業では、コロナ禍前の水準には到底及んでいないこと、また道東沖で発生した赤潮による漁業被害、年末年始にかけての生乳の廃棄問題などの影響もあり、経済の持ち直しにむけた動きが足踏み状態にあると判断している。		新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン株の感染状況によって流動的ではあるものの、事業再構築に向けた各種取り組みや前向きな設備投資も徐々に見受けられることから「上昇傾向」と判断した。
大地みらい 信用金庫				新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、8月27日～9月30日の期間で北海道に発令されていた緊急事態宣言が解除されたことにより、出張等移動の制限が緩和され、管内宿泊施設においてはビジネス目的の宿泊客が増加。新しい旅のスタイル(道民割事業)の区域制限の解除以降は、総体的に宿泊客が増加傾向。また、飲食店では、自粛緩和の影響で通常利用客が回復。一方、生産面では道東沖沿岸で発生した赤潮による漁業・水産業への打撃は甚大なものであり、総じてやや低調という判断。		新型コロナウイルス感染症のオミクロン株急拡大により、管内でもクラスターが相次いで発生し、過去最多の感染者数を更新する状況の中、再度不要不急の外出・移動を自粛する傾向が強まっている。ワクチン3回目接種の予約受付が釧路市、根室市で今月中に開始されるものの、全世代に行き渡るまでは時間を要する見通し。したがって、1-3月期は総合的に経済活動が停滞・下降すると判断。

## 【景況感の推移】

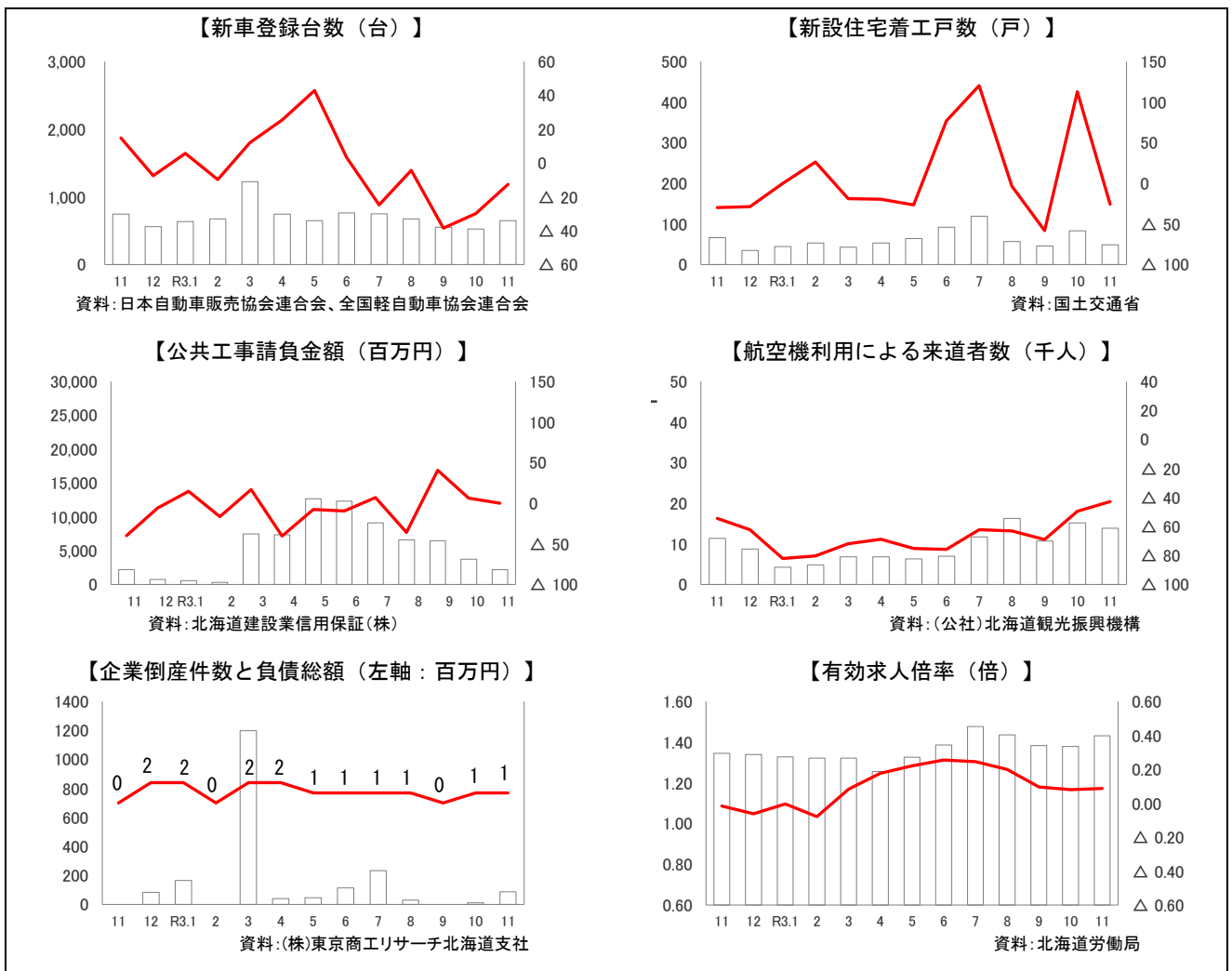
	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV
釧路信用金庫								
大地みらい 信用金庫								

### 3 業種別の業況感BSI (企業経営者意識調査)



	H30-IV	H31- I	R元- II	R元- III	R元- IV	R2- I	R2- II	R2- III	R2- IV	R3- I	R3- II	R3- III	R3- IV
全業種	△ 10	1	△ 25	△ 7	△ 21	△ 20	△ 53	△ 46	△ 42	△ 41	△ 16	△ 29	△ 15
建設業	0	△ 9	9	9	△ 9	0	△ 40	△ 9	△ 27	△ 44	△ 50	△ 36	△ 27
製造業	△ 9	25	△ 36	△ 33	△ 33	15	△ 33	△ 36	0	△ 25	△ 10	△ 25	△ 27
卸売・小売業	0	0	△ 50	△ 11	△ 27	△ 19	△ 34	△ 50	△ 67	△ 30	△ 11	△ 18	△ 14
運輸業	△ 30	△ 22	△ 15	△ 9	△ 31	△ 11	△ 67	△ 62	△ 45	△ 58	△ 18	△ 30	△ 18
サービス業	△ 8	12	△ 34	0	△ 13	△ 59	△ 75	△ 66	△ 61	△ 43	0	△ 34	7

### 4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同期比、その他は前年同期比(差)：%)